

特別支援学校卒業生の 雇用拡大について

令和6年5月21日

仙台公共職業安定所主催 求人説明会

ソララプラザ

宮城県立支援学校岩沼高等学園
校長 菅原 紀子

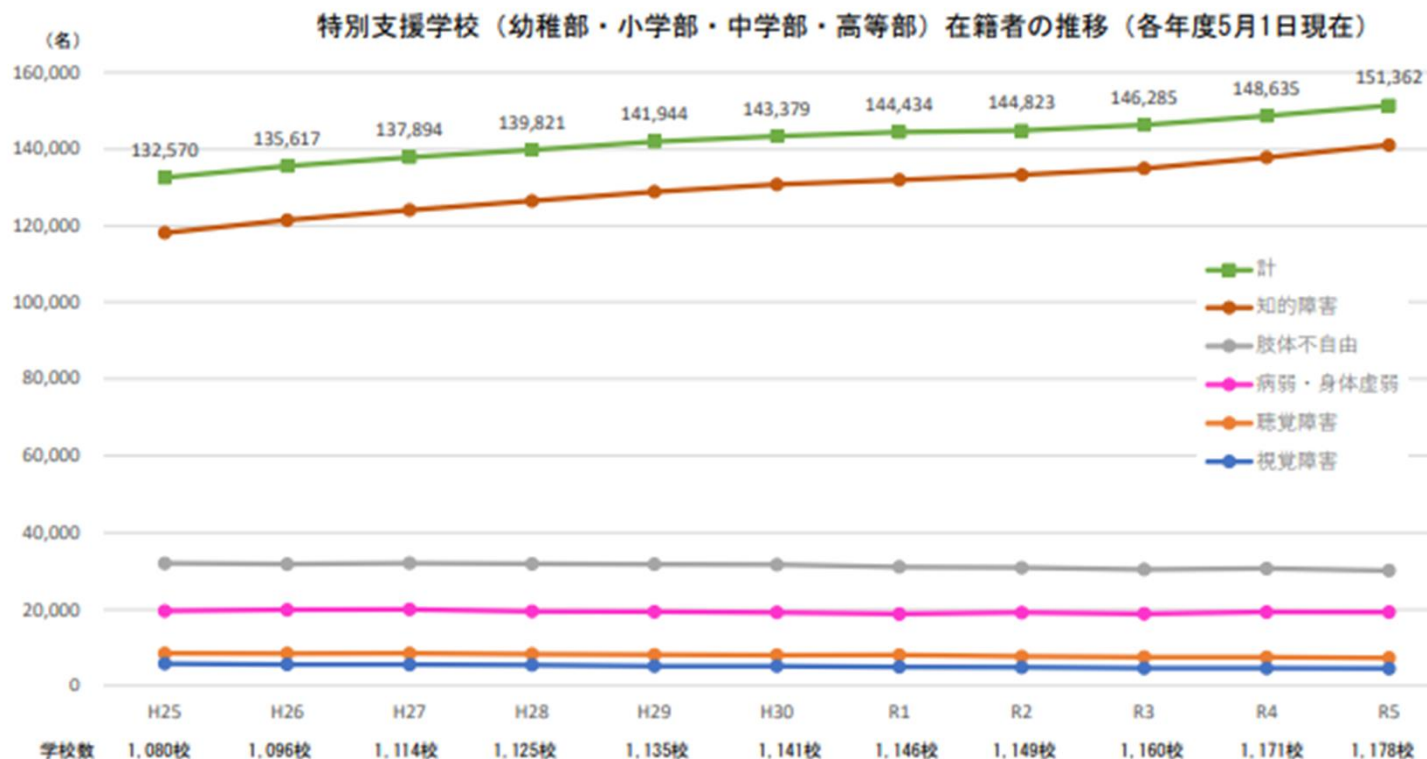


1 はじめに ～特別支援教育の現状～

特別支援学校の幼児児童生徒数・学校数の推移



R5. 4. 1
151,362人



【令和5年度の状況】

	視覚障害	聴覚障害	知的障害	肢体不自由	病弱・身体虚弱	計
学校数	82	120	823	351	156	1,532
在籍者数	4,696	7,457	141,063	30,161	19,339	202,716
学級数	2,068	2,772	33,168	12,003	7,683	57,694

（出典）学校基本調査

※上記表は、平成19年度より、複数の障害種に対応できる特別支援学校制度へ転換したため、複数の障害に対応する学校及び複数の障害を有する者については、それぞれの障害種に集計している。このため、学校数及び在籍者数のグラフと表の数値は一致しない。

文部科学省「特別支援教育の充実について」から引用

特別支援学校在籍者数(人)

	全国	宮城県
令和5年度	151,362	2,709
令和4年度	148,635	2,669
	<ul style="list-style-type: none">・前年度より 2,727人の増・過去最高	<ul style="list-style-type: none">・前年度より 40人の増・過去最高

障害者雇用における現状

- 法定雇用率 2.5%
- 実雇用率
 - 全国 2.33%
 - 宮城県 2.29%

全国、県の実質雇用率は法定雇用率を下回っている。



2 県内特別支援学校

障害種内訳

視覚障害
知的障害
病弱

聴覚障害
肢体不自由

障害に応じた学校の設置

視覚障害	視覚支援学校
聴覚障害	聴覚支援学校
肢体不自由	拓桃支援学校、船岡支援学校
病弱	西多賀支援学校、拓桃支援学校、 山元支援学校

障害に応じた学校の設置

知的障害

光明支援学校、小松島支援学校、小松島松陵校、石巻支援学校、古川支援学校、気仙沼支援学校、名取支援学校、名取名取が丘校、角田支援学校、角田白石校、利府支援学校、利府富谷校、利府塩釜校、金成支援学校、迫支援学校、西多賀支援学校、山元支援学校、秋保かがやき支援学校(普通科)宮教大付属支援学校(国)、仙台市立鶴谷支援学校

知的障害(軽度知的)

岩沼高等学園、岩沼川崎キャンパス、小牛田高等学園、女川高等学園、秋保かがやき支援学校(産業技術科)、いずみ高等支援(私)、仙台みらい高等学園(私)



3 県内特別支援学校の幼児児童生徒数

学部ごとの内訳

学部	人数(人)
幼稚部	19
小学部	853
中学部	480
高等部*	1,304
専攻科	53

* 高等部が全体の48.1%を占める。

障害種ごとの内訳

種類	人数(人)
視覚障害	47
聴覚障害	82
知的障害*	2,459
肢体不自由	86
病弱	35

* 知的障害が全体の90.8%を占める。



4 令和5年度卒業生の就労状況

県立学校の状況(人)

障害種	卒業生	就労 決定	就労 未決定	進学	福祉的 就労	施設入所 支援	在宅	その他
視覚障害	9	1	2	4	2	0	0	0
聴覚障害	9	6	0	3	0	0	0	0
知的障害	309	114	0	4	173	10	5	3
肢体不自由	14	1	0	0	13	0	0	0
病弱	5	0	0	1	3	0	0	1
計	346	122	2	12	191	10	5	4

全体の就労率35.3%(前年度比3.2ポイント増)



岩沼高等学園の紹介

学校の特徴

- 軽度知的障害がある生徒を対象とした高等部単独の特別支援学校です。
- 社会参加・職業的自立を目指しています。
- 個に応じた職業教育に努めています。
- 岩沼本校では、1年次に全員寄宿舎生活を体験します。川崎キャンパスでは、3年間公共交通機関で通学します。

生徒の様子

- 一人で公共交通機関を利用できます。
- 身の回りのことは一人でできます。
- 簡単な指示の理解ができます。

学習の内容

- 働くために必要な知識、技能、態度等の習得を目指した学習に取り組めます。

岩沼本校：家政、農業、工業、流通・サービス

川崎キャンパス：福祉、流通・サービス

- 日常生活に必要な基礎学力や豊かな情操を養うことを目指した学習に取り組めます。
- 将来一人で生活できる力を育てるため、「生活訓練棟」での訓練を行います。

1 進路指導の実際

進路指導のポイント
「自己選択」「自己決定」

① 進路相談

本人・
保護者の願い

共に考える

② 進路の学習

実体験

③ 職場実習

①進路相談

進路相談（進路の希望調査）



個別の教育支援計画の策定



個別教育相談（職場実習説明会）



職場実習



個別教育相談（職場実習反省会）

+

進路相談（進路担当・保護者面談）

各学年
このサイクルを
年2回行う

②進路の学習（アイワーク）

実
習
事
前
学
習

- ・ 職場実習の意義，心構え
- ・ あいさつ，自己紹介
- ・ 実習日誌の作成（事業所名，所在地，電話番号，担当者の名前）
- ・ 個人目標の設定（各自の課題を振り返り，改善に向けた目標の設定）
- ・ 実習期間，時間，休日，準備物の確認
- ・ 通勤経路，交通機関，所要時間，経費の確認（休日を利用して練習）
- ・ 職場の方との事前打合せ
- ・ 休日の過ごし方
- ・ 困ったときの対処の仕方（事故，遅刻，早退，体調不良，忘れ物等）

実
習
事
後
学
習

- ・ 仕事内容の振り返り
- ・ 個人目標に対する①自己反省 ②職場からの評価
- ・ 実習の全体を通して①良かったこと ②難しかったこと ③職場から
- ・ 就労に向けた自分の課題
- ・ 課題解決のため，今後の生活での取り組み
- ・ 今回の職場実習で学んだこと
- ・ お礼状の作成と発送

③職場実習（アイワーク）

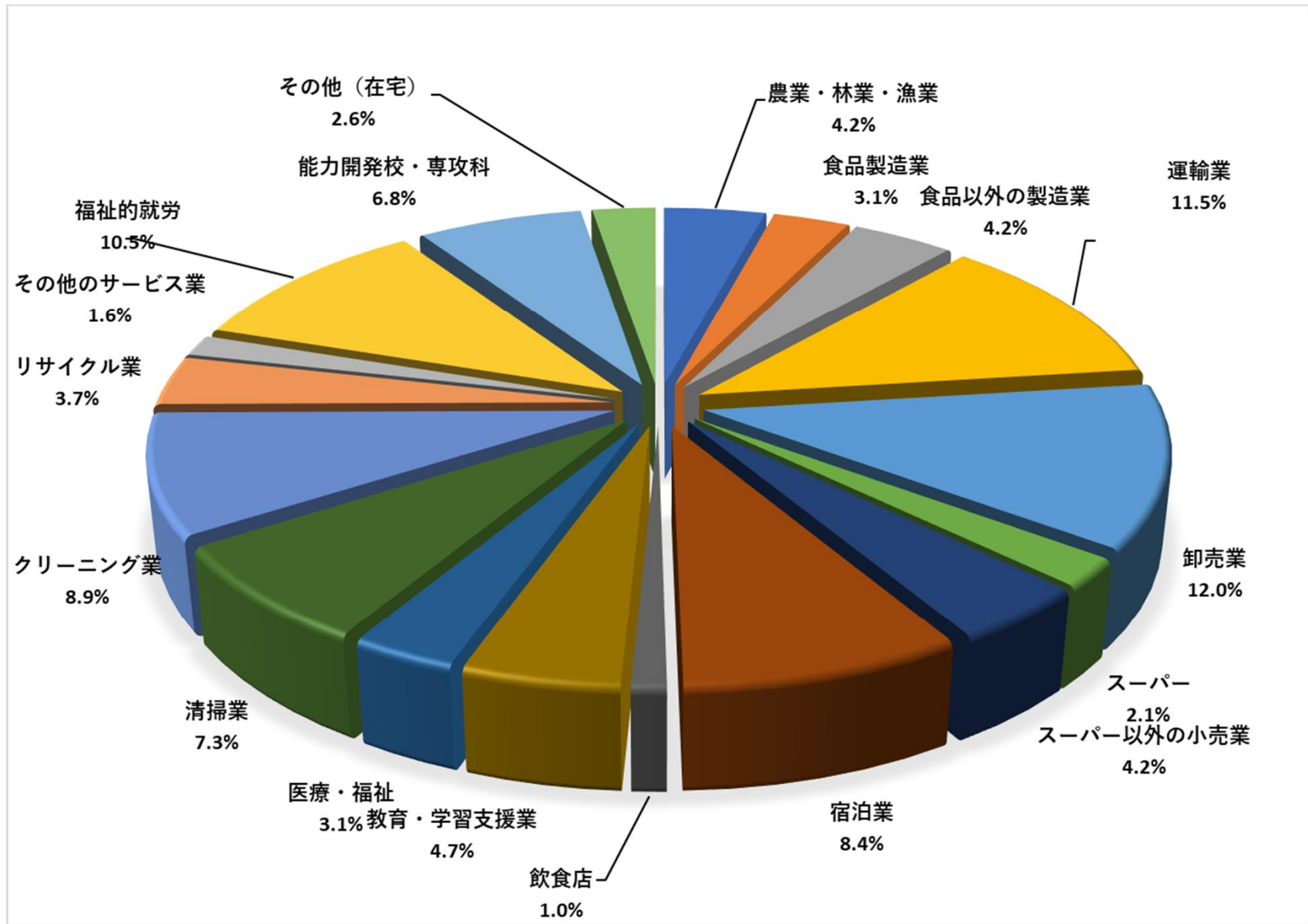
	第1学年1回目	第1学年2回目 第2学年1回目～第3学年2回目
時 期	6月下旬～7月上旬（2週間）	5月中旬～ 6月中旬（3週間） 10月中旬～11月中旬（3週間）
実習先	仙台市，名取市，岩沼市の事業所	出身地域の事業所
時 間	10：00～15：00を基本とする	9：00～17：00を基本とする
人 数	1事業所に2～4名のグループ実習	1事業所に1名ずつの実習
通 勤	寄宿舍（岩沼市）からの通勤	自宅からの通勤

過去5年間の卒業生の進路状況(岩沼本校)

令和5年度
卒業生

産業別就職状況

	17期生			18期生			19期生			20期生			21期生			卒業生全体		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計			
一般就労																		
農業・林業・漁業	3	1	4	0	0	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	8		
鉱業・砂利採取業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
建設業	0	0	0	1	0	1	1	0	1	2	0	2	2	0	2	6		
製造業	食品製造業		0	1	1	3	0	3	3	1	4	0	0	0	0	0	8	
	食品以外の製造業		2	1	3	1	2	3	3	1	4	4	1	5	6	1	7	22
運輸業	3	0	3	5	0	5	4	1	5	4	0	4	6	0	6	23		
卸売業	2	0	2	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
小売業	スーパー		1	0	1	0	2	2	0	2	1	2	3	0	0	0	8	
	スーパー以外の小売業		4	0	4	1	0	1	1	0	1	5	0	5	4	1	5	16
宿泊業	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2		
飲食店	2	2	4	0	1	1	0	1	1	1	1	2	1	0	1	9		
教育・学習支援業	0	1	1	3	0	3	1	0	1	0	0	0	1	0	1	6		
医療・福祉	2	0	2	3	1	4	0	2	2	0	2	2	2	2	4	14		
サービス業	清掃業		3	0	3	2	1	3	3	3	6	2	1	3	2	0	2	17
	クリーニング業		0	1	1	3	0	3	2	0	2	0	1	1	0	0	7	
	リサイクル業		0	0	0	1	0	1	2	0	2	0	0	0	0	0	3	
	その他のサービス業		5	0	5	5	2	7	1	1	2	1	1	2	2	2	4	20
福祉的就労	2	0	2	1	0	1	1	2	3	2	2	4	2	1	3	13		
能力開発校・専攻科	1	0	1	1	0	1	1	0	1	2	0	2	0	0	0	5		
その他(在宅)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	0	0	0	2		
計	32	7	39	32	9	41	26	12	38	24	14	38	30	7	37	193		



企業対象の学校見学会へ是非御参加ください。

障害者雇用に関心をお持ちの企業のための

岩沼高等学園 学校見学会

本校は軽い知的障害のある生徒が通う
高等部のみの特別支援学校です。

(多くの生徒が一般就労を目指して学んでいます)

どのようなことができる生徒なのかよく分からない…

令和6年6月20日(木) 岩沼高等学園 コモンホール
13:15~ 受付
13:40~ 校長挨拶・日程説明
13:50~ 本校について 教頭
14:05~ 授業・施設等見学
15:05~ 本校の進路指導について(就労の様子VTR含む)
15:25~ 講演「企業における障害者雇用・定着について(仮題)」
講師 アイリスオーヤマ株式会社 SP事業部 統括マネージャー 高野英夫 氏
15:55~ 意見交換会・質疑応答
16:15 閉会

「職場実習」はどのように進めるのだろうか？



開校以来、本校卒業生は、たくさんの事業主の皆様から温かなご理解とご支援をいただき、社会参加と職業的自立を果たしています。

令和5年は県内 26事業所の皆様にご参加いただきました。ぜひご参加ください！



参加ご希望の方は、裏面の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたはメールで6月6日(木)までにお申し込みください。

なお、一事業所につき2名様までの参加をお願いします。また、申し込み多数の場合は、調整させていただきますのでご了承ください。



令和5年の見学会の様子

宮城県立支援学校岩沼高等学園
<担当> 支援部
TEL 0223-25-5332
FAX 0223-25-5333
E-mail iwanuma-shinro@od.myswan.ed.jp
URL <http://iwanuma.myswan.ed.jp>

岩沼高等学園 企業を対象とした学校見学会 参加申込書

令和6年 月 日 (ファックスまたはメール発信日)

送 信 先	宮城県立支援学校岩沼高等学園 支援部 行 FAX番号: 0223-25-5333 E-mail iwanuma-shinro@od.myswan.ed.jp
-------------	--

所 属 (企業名) _____

電話番号 _____

Fax 番号 _____

E-mail _____ @ _____

役 職	氏 名

<質問事項>

※ FAXの場合添書(送り状)は不要です。この様式のみファクシミリで送って下さい。
※ 6月6日(木)まで、ご送付くださいますようお願いいたします。

ご清聴ありがとうございました。